

平成21年4月9日

(ISC)^{2®}

(ISC)^{2®}が年に1度開催されるアジア・パシフィックのセキュリティ・リーダーを表彰する ISLA プログラムの、推薦手続きを開始

(ISC)^{2®}では3つの分野でアジア・パシフィックのセキュリティ・リーダーの絶え間なきコミットメントに対して表彰をさせていただく事にしました。

香港、4月9日

情報セキュリティのプロフェッショナルへの教育と認定制度を提供している分野でのグローバルリーダーである非営利団体、(ISC)^{2®} (The International Information Systems Security Certification Consortium, 本部：米国フロリダ州) は今日、今年で3度目の開催となる ISLA (Information Security Leadership Achievements) の候補者の推薦プロセスを開始したことを発表しました。(ISC)^{2®}は ISLA において、2007年から10を超すアジア・太平洋圏の国々から35名を顕彰しています。

ISLA は、高い能力と倫理観を持ち合わせた情報セキュリティ人材育成に継続的に貢献しているアジア・パシフィックの情報セキュリティ・リーダーを評価するもので、以下の3つの異なる分野に分かれています。

- 「Senior Non-IT Security Professional」の部 (CIO、CFO、プログラム／プロジェクト・マネージャーなど)

情報セキュリティ人材育成に関するイニシアチブ、プログラムやプロジェクトにおいて、リーダーシップを発揮し、情報セキュリティにおける人材の強化に多大な貢献をされた方が対象となります。また候補者は、少なくとも10年以上の職歴があり、組織の管理職についていることも必要条件となります。

- 「Senior IT Security Professional」の部 (CSO、CISO、IT セキュリティ・マネージャー、シニア情報セキュリティ・マネージャーなど、情報セキュリティにおいて大きな責務を担っている方)

情報セキュリティ人材育成に関するイニシアチブ、プログラムやプロジェクトにおいて、リーダーシップを発揮し、情報セキュリティにおける人材の強化に多大な貢献をされた方が対象となります。また候補者は、少なくとも10年以上の職歴があり、そのうち7年は情報セキュリティに関係した職務についていたことも必要条件となります。

■ 「IT Security Practitioner」の部

セキュリティプログラムの全部又は一部の導入推進や管理に顕著な業績を残した方が対象となります。例えば、情報セキュリティ意識向上研修プログラムの推進、複雑で難解なセキュリティ評価を実践した方などが例として挙げられます。また候補者は、少なくとも6年以上の職歴があり、そのうち3年は情報セキュリティに関係した業務についていたことも必要条件となります。

(ISC)^{2®}アジア・アドバイザリー・ボードの共同議長、Lee Jae-woo 博士は「過去2年の受賞者は、プロフェッショナルとして業務を遂行する情報セキュリティ業界におけるエリート中のエリートの方々です。我々はプロフェッショナリズム、品位、ビジョンを兼ね備えた情報セキュリティ・リーダーの方々を、今年も表彰できることを大変うれしく思います。たとえ経済が悪化しても、情報セキュリティのプロフェッショナルが、組織になくてはならない資産であるデータを守るという非常に大切な役割を担うことに変わりはないと、私達は考えています。また、アジア・パシフィックにおけるこういったリーダーたちの、情報セキュリティの発展への功績を表彰し、祝賀するという事は非常に重要な事だと思っております」と述べました。

昨年の ISLA 授賞式では、(ISC)^{2®}は15名を表彰し、その中でも際立った人材育成イニシアチブを4名の受賞者をモデルケースとして発表させていただきました。

「Senior Non-IT Security Professional」の部：

Jeong Sik Choi 氏、CEO & Publisher, INFOTHE Co., Ltd.

Choi 氏は、韓国の情報セキュリティプロフェッショナルに向けた、情報セキュリティ出版物を業界に先駆けて刊行した氏のビジョンに対して表彰されました。

「Senior IT Security Professional」の部：

Soojung Shin 博士、Executive Vice President, Infosec Co., Ltd.

Shin 博士は、新規のセキュリティ脅威と戦う手法を生み出したことで表彰されました

「IT Security Practitioner」の部：

Frank Law 氏、CISSP, BEng, MsC, Senior Inspector, Hong Kong Police Force

Law 氏は、警察の情報セキュリティ犯罪対策トレーニングに貢献され、香港やアジア・太平洋圏の警察官がテクノロジー関連の犯罪と立ち向かうことを可能にしたことで表彰されました。

「IT Security Practitioner」の部：

Wansuck Yi 氏、Director, u-IT Service Protection Team, Korea Information Security Agency (KISA)

Yi 氏は、KISA のセキュリティ教育・研修プログラムの作成、実施した彼の忍耐強い努力に対して表彰されました。



審査委員会は AAB（アジアアドバイザーボード）のメンバーによって構成され、選考基準と受賞条件を満たしているかどうかをベースに、3分野の受賞者を選ぶこととなります。AAB とは、シニアレベルの情報セキュリティプロフェッショナルがメンバーとなり、(ISC)²®の経営陣に対して、アジア・パシフィックにおけるポリシー、トレンド、資格の必要性などに関する助言をする機能を持っている組織です。(ISC)²®は、本年7月にマレーシア、クアラルンプールで開催される SecureAsia@KualaLumpur Conference で ISLA プログラムの表彰をいたします。

管理職の方や情報セキュリティのプロフェッショナルを推薦するには、また ISLA プログラムについての詳細は <https://www.isc2.org/isla/> をご覧ください。また、ISLA プログラムへの申請ご希望の方は、<https://www.isc2.org/isla/> から推薦申込書をダウンロード下さい。

推薦応募締め切りは2009年5月15日となります。

(ISC)²®について

(ISC)²®は情報セキュリティプロフェッショナルを認証する、世界中で認知された優良な非営利団体です。発足20年を迎え、130もの国から6万人以上の情報セキュリティプロフェッショナルを既に認証しています。米国フロリダ州パームハーバーに本部を置き、ワシントン D.C.、ロンドン、香港、東京にて CISSP (Certified Information Systems Security Professional) や CSSLP^(CM) (Certified Secure Software Lifecycle Professional)、CAP[®] (Certification and Accreditation Professional)、SSCP[®] (Systems Security Certified Practitioner) などの認証と教育活動を展開しています。CISSP、CAP 並びに SSCP は IT 関連資格としては初めて、個人認証制度に対するグローバル基準のベンチマークである ISO/IEC17024 の認証を取得しています。

また、(ISC)²®はプロフェッショナル向け継続教育プログラム・様々な教育サービスを、情報セキュリティ知識を体系化した GBK[®]をベースにして開発し提供し、グローバル情報セキュリティワークフォース調査も実施しています。更なる情報はホームページ <https://www.isc2.org/> または <https://www.isc2.org/japan/> をご覧ください。

© 2009, (ISC)² Inc. (ISC)², CISSP, ISSAP, ISSMP, ISSEP, CAP, SSCP 並びに GBK は 登録商標です。CSSLP は (ISC)², Inc. の商標です。

報道関係からのお問い合わせ

(ISC)² ジャパン代表

衣川 俊章 (Toshi Kinugawa)

電話 +81-3-3583-8460

Eメール: tkinugawa@isc2.org